

## 第1回たまの渚の交番 建設準備会

### 次第

日時 平成30年3月13日(火)

10:00~11:15

場所 渋川海岸 浜茶屋

司会 岡本章弘

議事録作成 柴田園子

出席者：大賀秀人、大賀拓郎、中村憲由、岡本章弘、阿部あけみ、安原賢一、柴田園子

欠席者：三宅敦士

岡本：本日はお忙しい中記念すべき第一回開催にお集まりいただきありがとうございます。

渚の交番によって地域と日本財団に共鳴してもらえるよう、ビーチスポーツ普及のためだけではなく、提案してください。次第1を元に、皆さんの意見をもらい地域に貢献できるよう構成していきます。

—自己紹介割愛—

#### 1、目的

- ・渋川海岸の状況や課題を話し合い、「渚の交番」の果たす役割を考え、渋川地域のより良い将来像を描く

安原：資料朗読、資料、渚の交番だより参照

現施設の改築によって外から来た人へアプローチ、冬の活用、拠点として役立てていきたい。ビーチスポーツを元に地域が盛り上がり、現場や生の声が反映される組織団体作りを行う。

#### 2、渚の交番とは

安原：ソフトとハードの両面の確立、日本財団へ3年目の申請を通していきます。多くの団体の交差点となる拠点として必要であり、現在ある5か所はそれぞれ特色があり、福祉、キャンプ場、観光などに特化しているが、稼働状況的に成果が上がらず正直厳しいこともあり、日本財団としても前例通りは好まず玉野独自のものが必要である。ゼロ査定であった理由は収益性、事業性に問題があった。

#### 3、29年度申請 渚の交番建設事業と推進事業について

#### 4、渚の交番トライアル事業について

#### 5、30年度及び31年度の事業スケジュール

安原：資料朗読、参照

昨年の申請の結果は残念ながら不採択であったがその理由としては

- ・コンセプト内容が現在ある静岡の事例と類似している。
- ・年間通じて常駐スタッフの確保

- ・アクティビティの充実
- ・初年度事業の伸び悩み

が挙げられ、今後の課題として健康をテーマにしたトライアル事業として次年度より下記①～③を実施する。

① すなはま体育教室②すなはま健康体操③すなはま健康ウォーキング

内容は毎週土曜日に年代ごとに楽しめ、終了後浜茶屋を利用して健康カフェを開き情報交換を行い、今後の時間経過のイメージは昨年と同様でそのままスライドする。

岡本：財団への申請は30年の10月～11月、結果は31年の2月～3月、そのまま順調にいけば4月着工、海開きに間に合うよう完成予定。

安原：すなはま健康プロジェクトは今後の展開に大きく左右するのでご協力よろしくお願い致します。

## 6、意見交換

### 【渋川の良さの問題点】

安原：良い点としてビーチスポーツに適している広い砂浜と温暖な気候があり、悪い点としては事業化が出来ていない、動物の問題がある。

大賀た：動物の問題について市の方で対策はしていないのか。

阿部：エサやりに注意喚起、捕獲をして保護をしているが理解されづらい

大賀た：本当に殺さないのかといった疑問視があるのだろう。

大賀ひ：ふた夏ほど駐車場の管理のみしているが、海開き期間外は無料であることは大きなメリットなので、もっとアピールをするべき。夏は集客があるがその他の時期は集客力がないので、維持させるにはどの様にすればよいのか教えてほしい。

大賀た：景色が本当に良い。価値があると発信する人がいないことと、遊びに来ると考えた時に地元住人には細かい問題点は出し尽くせない、大きな資源であるが、あって当たり前の良さになっている。

中村：景色が良い、砂浜がきれい、3つの100選をとっているのに、地元の人でさえ知らない。周辺の観光やお店がないのでどの様にお金を落とされるか考えるべき。

安原：JTBから玉野は販売するものがないと言われている。

岡本：玉野市は観光資源として自然があり恵まれている。

大賀た：三井造船があることも活力のひとつである。

阿部：海が綺麗で砂浜～海岸が広い。諸問題はあるが、多くの人が集える場所である。

玉野市全体の風潮として何やっても文句を言われることが多く、市長がやることも反対する人が多い。市役所も二番煎じが多く SNS の稼働や発信が遅く、色々なことをやっても PR 下手で十分発揮できていない。人を誘導するにも、電車で来られた方などには交通機関が不便で、年間を通して何かをしていたりお店があればお金をかけてでも行ってくださいと言うことができるが現状は残念ながら薦めにくい。

いつも言われることとして、トイレが分かりにくく汚い、勤めて12、3年で10年

以上言い続けているが改善されず、補修されることが瀬戸芸や宇野周辺に偏っている。

安原：清掃をしてもしてもトイレ自体が汚い、ペーパーのストックフォルダーも壊れている。

阿部、大賀た：有力者の声で行政も動くので、渋川、八浜には残念ながら不在である。宇野や中心ばかりに目がいき、結果住民も諦めて八浜、東兎の人は岡山へ、渋川の人は児島へ出ることが多いのが現状。

安原：毎週金曜日～2週間に1度のトイレ清掃の委託だが、週末に利用者が多いので汚れたまま放置される期間があるので改善したい。

大賀た：毎日チェックしてもらえるだけでも助かるし、有料のトイレ設置も考えて差別化を図ってもいいのではないか。

阿部：女性トイレに落書きも多く、トイレ、治安問題は観光地にとって大きい。

大賀た：ヤンキー暴力団問題はソフト面の問題で、入れ墨の入っている方やナンパ目的、バカ騒ぎする人がいるとご家族連れはもちろんのこと客足は離れる。

安原：逗子海岸は殺人事件から条例が厳しくなり、騒ぐ人や入れ墨の入った人の入場制限をした結果、綺麗でオシャレなテナントもでき、客質が変わり人気になった成功事例。

大賀た：その様な管理を渚の交番でするのが理想ではないか。

大賀ひ：23時から3時位までバイクの音など騒音がある。

大賀た：年間運営費の捻出にスポンサーのお願いなど協議会で出来ないのか。

カフェの利用客は家族連れが多く、若い人は海辺で座っていて、それも海の正しい利用の仕方だと思う。

中村：目標と事業内容を明確にして、海の活性化を。渋川を臨んでの反応は悪くはないが何もできない、薦めていくことがない、企業研修の誘致なども行いたい。告知の窓口が狭く夏場のアクティビティもHPで掲載可能なので早めに情報共有をお願いしたい。

大賀た：公共性の高い事業で黒字は難しいので、玉野市がランニングコストを持つなど応援をするべきではないのか。

岡本：法人格であるので安心感はあるので上層部に見えていない現状を伝えるべきではないか。渋川訪問者へのアンケートでは7割以上が市外からの10～20代となっており、地域の人の活力となればいい。

阿部：今後も事務局として裏方から支えていきます。トイレの改善だけでも市が動いていると認識され、財団への影響は大きいのではないか。

安原：その通りで、市の支援があるかないかは非常に大きい。

岡本：今日は貴重な時間とご意見をありがとうございました。

判断材料として活用し、今後の課題としては渚の交番の周知と理解を得られる様に機能を充実させて地域に貢献出来る様に努めます。

## 6、次回の開催予定

【4月17日(火)10時～ 浜茶屋(予定)】